

平成20年度戦略的研究基盤形成支援研究計画
「生物の環境適応の分子機構解明に関する総合研究」
中間発表会

本研究計画では、分子、細胞、個体各レベルで研究する研究者間の連携を強化し、生物の環境応答を分子機構にまでさかのぼって総合的に研究する拠点形成をめざします。多くの共同研究を進めるための機会として中間発表会を開催致します。大学院生、計画に入っていない方を含め多数のご来場をお待ちします。

日時：3月31日 13:00- 17:00 (終了後、ビアパーティ)
場所：研究3号館生命科学棟 12階 G セミナー室

プログラム

演者	演題
山岸 明彦	13:00 戦略的研究基盤形成支援研究計画について
山岸 明彦	13:10 微生物の温度適応と宇宙環境応答：生物進化との関連
赤沼 哲史	13:30 酵素の温度適応の仕組みと温度適応化
横堀 伸一	13:50 微生物の宇宙での耐性と惑星間移動の可能性
太田 敏博	14:10 高度好熱菌のAtIタンパクのメチル化DNA修復への関与
	14:30 休憩
岡田 克彦	14:40 シアノバクテリア (Synechocystis sp. PCC6803) 解糖系酵素遺伝子の光による発現調節
熊田 英峰、 青木 元秀	15:00 人為的環境ストレスに対する細胞膜脂質構成成分変化の定量化
井上 英史	15:20 線虫を指標にした種々の化学物質の生理作用の測定
伊藤 久央	15:40 Lewis酸検出蛍光分子からLewis塩基検出蛍光分子へ
多賀谷光男	16:00 小胞体の形態形成におけるsyntaxin18複合体の役割
福田 敏史	16:20 統合失調症関連蛋白質 DISC1 に結合する新規蛋白質 CAMDI の機能解析
	16:40 総合討論
	17:00 サンドウィッチ- ビアパーティ